

## 平成27年度事業計画

### 【基本方針】

国は、観光立国実現に向けたアクション・プログラムのもと、オリンピック・パラリンピック東京大会が開催される2020年に向けて、訪日外国人旅行者数2,000万人の高みを目指しており、2015年は「観光振興による地方創生」、「インバウンドの飛躍的な拡大」、「観光による国際相互交流」の3点に重点をおいた取り組みを推進する方針を掲げている。

本市においては、昨年6月に6年計画の「北九州市観光振興プラン」を策定し、近い将来「北九州市に観光にいきこう！」と言われる観光都市になることを目標に掲げ、環境、産業、近代化産業遺産、サブカルチャーなどをキーワードにプランを推進している。

当協会では、昨年立ち上げた「北九州産業観光センター」において、工場受け入れ先企業との連携強化等を図るとともに、北九州—名古屋小牧路線の就航開始及び、東九州自動車道開通を見据えた観光客の誘致や、観光客の増加を目指した国内外の都市における観光キャンペーンに取り組むほか、観光情報発信を行うためのWEBを製作し、情報発信の強化を推進します。

また、企業、行政、団体等と協同した「北九州市観光案内所運営協議会」を新たに設立し、観光案内所の機能向上を図るとともに、大学との連携事業の一環としての各種事業の実施や、北九州市立大学における観光関連講座の開講及び同講座と連動した「北九州観光市民大学」の実施、観光案内ボランティアによる新たな案内コースの活用等を通じ、おもてなしの向上を図る。

一方、観光施設の運営事業では、門司港レトロ地区の売店「よりみち」に加え、「TOTOミュージアム」の館内に新たに売店を開設するほか、小倉駅3階のJAM広場の料金改定を行い、JAMビジョンとともにさらなる利用促進に努める。

さらに、今年度は、旧官営八幡製鐵所関連施設を含む「明治日本の産業革命遺産九州・山口と関連地域」について、ユネスコ世界文化遺産登録の可否が決定される予定であることから、世界遺産ガイドの育成及び観光客の受入れの充実を図る。

事業計画（案）については、次のとおりである。

### 【公益目的事業】

I 観光客の誘致及び滞在化促進【定款事業(1)】	(事業費計) 33,515千円
--------------------------	-----------------

1 観光客誘致事業・滞在化促進事業	1,511千円
-------------------	---------

#### (1) 他都市及び旅行社等を訪れてのPR活動

市及び観光関連企業で「北九州市観光キャンペーン実行委員会」、「北九州市観光宣伝使節団」、「北九州市国際観光推進協議会」を組織し、他都市等を訪れて本市の観光資源や新しい観光情報等のPRを行う。

- ①北九州市観光キャンペーン
- ②東九州自動車道開通を見据えた観光キャンペーン
- ③東アジアを市場としたセールス活動

(2) まつり・都市間交流事業

九州各都市で開催される主要な祭りへ参加し、本市祭事の披露や観光PRを行う。また、わっしょい百万夏祭りへ各都市の宣伝隊を招聘するなど、相互の交流を行う。

2 修学旅行誘致事業

1,516千円

市及び修学旅行関連企業と連携し、主に関西以西の主要都市の旅行会社や学校に対して、セールス活動や現地説明会を実施するなど、総合的な誘致活動を行う。

[平成27年度]

年5回の修学旅行誘致セールス活動や、修学旅行素材の視察ツアー等を実施する予定。

3 助成事業

30,488千円

(1) 旅行商品企画及び北九州空港を利用する旅行商品企画への助成

旅行関連企業が実施する、本市の観光地や北九州空港を利用した観光客誘致へつなげる事業に対して、助成を行う。

(主な助成内容)

- ・本市関連観光旅行商品の送客人数に応じた助成
- ・本市関連観光旅行商品のチラシ印刷及び広告掲載への助成

(2) 伝統的な祭事への助成

本市を象徴し、かつ集客力のある伝統的な祭事に対し、補助を行い、観光客の誘客を図る。

- ・全11件の祭事に助成予定。

Ⅱ 観光都市北九州の広報宣伝と観光情報の収集・調査【定款事業(2)(3)】

(事業費計) 13,970千円

1 企画広報宣伝・情報収集調査事業

(1) 機関誌の発行

本市の四季折々の観光情報やイベントを掲載した「北九州観光だより」及び、本市の主な祭事や行事を年間で集約した「北九州行事かわら版」を作成し、観光関連施設・市内行政施設等に配布する。

- ・「北九州観光だより(年4回発行)」各10,000部発行予定
- ・「北九州行事かわら版(年1回発行)」4,500部発行予定

(2) ホームページの運営等

本市の観光情報を網羅した独自のホームページに加えて「修学旅行」「環境修学旅行」等のホームページの管理運営を行うとともに、フェイスブック等を活用したリアルタイムの情報発信の充実を図る。

また、今年度は国の緊急経済対策による地方創生に係る交付金を活用した観光情報発信を行うためのWEBを製作する。

(3) 観光関連書籍の発行

本市の観光資源を写真やイラストなどで紹介した、カレンダー・絵葉書・名刺台紙を低廉な価額で販売し、観光客や市外に向けた本市の観光PR物として提供する。  
・「北九州観光カレンダー」8,000部発行予定

(4) 着地型観光メニューの広報PR

着地型観光メニューの素材について情報収集し広報PR等を行う。

(5) 環境学習における情報収集・調査

環境学習関連情報の収集・調査、及び広報PR等を行う。

Ⅲ 観光に関する人材の育成及び啓発【定款事業(4)】

(事業費計) 7,890千円

1 百万にこにこホスピタリティ運動

3,150千円

市民や観光関連施設の従事者を対象に、おもてなしの精神の向上を図る啓発事業を行なう。また、北九州市立大学及び九州国際大学と連携協定を締結したことから、同大学と連携し、各イベントへの学生の参加や共同事業を行い事業の拡大・人材育成を図る。

(1) イベント事業

- ・JR小倉駅での街頭PR及び清掃活動
- ・オープニングセレモニー(ホスピタリティ賞表彰等)
- ・啓発ポスターや歓迎看板等の設置
- ・清掃活動

(2) 研修事業

- ・新しい観光素材の知識習得などを目的とした研修会等の実施
- ・観光知識の習得を目的とした観光試験の実施

(3) 表彰、コンクール事業

- ・ホスピタリティ賞表彰…特に優れたホスピタリティ活動を行っている企業、団体、個人を表彰する。
- ・小学生絵画コンクール…市民の観光に対する理解を深め、本市の観光の魅力を観光客や多くの方々にPRするため、市内の小学生を対象とした、絵画コンクールを実施する。

2 観光案内ボランティアの養成及び派遣

4,517千円

(1) 観光案内ボランティア制度運営

本市を訪れる観光客に、専門的な知識と経験をもって観光地の適切な紹介と解説を行なう観光案内ボランティアを派遣し、利便性向上と受入体制の充実を図る。(平成27年3月1日現在 登録ボランティア数112名)

また、観光案内ボランティアが監修した各区の観光コースをPRし、観光客や旅

行代理店等に市内観光のモデルコースとして活用を促す。

さらに、本市は世界遺産登録を目指していることから、世界遺産の紹介等を行うガイドの育成、整備等を行う。

## (2) 北九州観光市民大学の実施

市民を対象に、本市の観光資源等の知識習得を目的とした「北九州観光市民大学」を開講する。市民大学を修了した者は、観光案内ボランティアとして登録することができる。

大学連携の一環として、北九州市立大学において、観光関連講座の実施を予定しており、市民大学の講義を同講座と合わせて実施する。

## 3 観光功労者等表彰

223千円

観光振興及び観光意識の高揚を図るために、観光事業の発展に著しい功績があると認められる個人又は団体を表彰する。

- ・ 永年勤続者表彰
- ・ 観光功労者表彰
- ・ 優良会員表彰
- ・ 観光ボランティア功労者表彰

## IV 観光に関する施設の管理・運営【定款事業(5)】

(事業費計) 42,379千円

### 1 観光案内所運營業務

平成27年度より、北九州市、JR九州、西鉄バス北九州、北九州エアターミナルと当協会が「北九州市観光案内所運営協議会」を新たに組織し、官民一体となった案内所の強化を図る。

産業観光推進強化のため、昨年、北九州市、北九州商工会議所と協同で立ち上げた「北九州観光産業センター」では、工場受け入れ先企業との連携強化や、夜型観光の推進等に係る取り組みを実施する。

- (1) 北九州市観光情報コーナー
- (2) 小倉駅総合観光案内所
- (3) 門司港駅観光案内所
- (4) 北九州空港総合観光案内所

## V 特産品の紹介・宣伝【定款事業(6)】

(事業費計) 21,463千円

### 1 特産品振興業務

#### (1) 特産品紹介パンフレットの作成配布

本市の特産品を紹介するパンフレットを作成、市内各所に設置し、観光客や一般市民に対しPRする。

#### (2) ホームページでの紹介、販売

本市の特産品をホームページ上で紹介し、通販サイト等で購入できるシステムを管理運営する。また、寄附することで本市の特産品を得ることのできる、本市のふるさと納税のPRサイトともリンクし、本市の特産品PRを図る。

(3) 物産展開催

観光の魅力を増大させる為の賑わいづくりの一環として、門司港レトロお国自慢「ふれあい市場」を実施する。

・門司港レトロお国自慢「ふれあい市場」…年2回（6月、11月）実施予定（北九州市上下水道局と本市の水源地市町村、国東市が参加予定）

(4) 大規模イベント会場での臨時売店設置

市内外を問わず、本市の特産品土産品を実際に手にとって購入できる機会を提供するため、「北九州マラソン」等の大規模イベントやコンベンション等に出向いて、臨時売店等を設置する。

〔収益事業〕

VI 観光に関する施設の管理運営【定款事業(5)】

(事業費計) 100,415千円

1 門司港レトロ地区等における観光関連施設の管理運営

65,069千円

平成27年度秋季、リニューアルオープンする「TOTOミュージアム」において、土産品の販売を行う。また、門司港レトロ地区で土産品を販売する売店「よしみち」では、今年度、新たに消費税免税制度を導入し外国人旅行者へのサービス強化を図るとともに、駐車場等を運営することで、賑わいづくりの一躍を担い、観光客等への利便性を供与する。

(1) 土産品、特産品売店の管理運営

(2) 駐車場の管理運営

(3) 自動販売機の設置

2 小倉駅イベント広場等の管理運営

35,346千円

JR小倉駅3階在来線改札口前のJAM広場を、イベントや観光展などへ貸し出し、市の玄関口にふさわしい賑わいの創出につなげる。なお、平成27年度から、より利用しやすいものとするため、料金改定を行う。

また、同場所において大型映像装置である「JAMビジョン」で、市政番組や観光情報、広告CM等の放映を行う。